

## めぐみ行動日誌 (2019.4~6)

当選が決まってから、「おめでとう」という言葉とともに、「こんなことやりたい」「どうやっていったらいい?」「これを調べて」「困っている」などの声が入ってきています。どんどんめぐみを使ってくださいね。

議会関係所属委員会 / 厚生保健委員会、行財政改革・大都市制度調査特別委員会、議会改革検討会議委員  
基地対策協議会代表委員

### 4月

- 16日 浜松の福祉を考える会定例会、遠州編プロジェクト総会
- 17日 静岡県教育委員会などに新年度挨拶
- 20日 染め紡ぐ浜松 お礼の集い
- 21日 上島小学校PTA総会、曳馬中学校参観会・PTA総会
- 24日 異業種新卒採用研究会
- 28日 個性ある子どもたちが輝く社会～教育・福祉・医療の切れ目ないサポート

### 5月

- 1日 水窪・門桁
- 3~5日 浜松まつり
- 5日 **みんなで作る、みんなのアソビ第2弾(焼津)※P3参照**
- 6日 浜松介護サポートりらねっと 臨時総会
- 7日 初議会打ち合わせ
- 10日 全員協議会
- 11日 笠井共生活動センター総会、くるみをささえる会総会
- 12日 「正解同調圧力からの脱出」(名古屋)
- 14日 全員協議会
- 15日 浜松女性議員の会
- 16日 福祉を考える会
- 17日 全員協議会、曳馬地区社会福祉協議会総会
- 18日 雲を耕す会総会
- 19日 三楽会総会、手をつなぐ育成会総会
- 20日 本会議(5月議会初日)、子ども育ちレスキューネット
- 21日 ひかりライオンズ・いのちを考える講座
- 22日 全員協議会、本会議
- 25日 上島小学校運動会、たきや漁
- 26日 姫まつ清掃、魅惑的倶楽部
- 28日 全員協議会、本会議
- 29日 女性議員を増やす会・なないろの風
- 30日 地方創生調査特別委員会
- 31日 環境経済委員会

### 6月

- 1~2日 家康楽市
- 2日 認定NPO法人はままつ子育てネットワークびっぴ総会
- 3日 **神奈川県の新しい学びの学校の見学(神奈川県厚木西高校、釜利谷高校)※P2参照**
- 6日 議会改革検討会議

### 6月

- 7日 本会議、政務活動費研究会、鈴木光司さんの講演会
- 8日 磐田北高校文化祭
- 9日 浜松の福祉を考える会(SDCsについて)
- 11日 浜松の福祉を考える会
- 13日 全員協議会、本会議(代表質問)
- 14日 環境経済委員会
- 15日 刑事司法と福祉の協働(静岡)薬剤師会総会
- 16日 まるとま市
- 17日 地域公共交通会議(傍聴)
- 19日 NPO法人百姓のチカラ総会
- 20日 議会改革検討会議
- 21日 全員協議会、本会議(最終日)
- 22~23日 学芸中学・高校文化祭
- 24日 環境経済委員会現地視察、インクルーシブ研究会
- 25日 ライフリズムフォーラム
- 27日 企業のための防災講演会&活動報告会
- 28日 浜松女性議員の会 市長との懇談会
- 30日 肢体不自由児親の会総会

\*選挙事務所に使った上島の事務所は閉鎖し、元の半田山に事務所を戻しました。  
**めぐみ応援・浜松市政向上委員会事務所**  
浜松市東区半田山 2-5-10 TEL:053-431-1511

### 一人ひとりのHAPPYのために

鈴木めぐみは、どの政党にも所属していません。  
鈴木めぐみは、市民のための議員を目指しています。

#### めぐみProfile

- 1961年浜松市鴨江生まれ、射手座B型
- 積志中学校、静岡県立浜松北高等学校、中央大学文学部卒業。
- 自動車販売会社にて、女性営業職第1号としてバンバン車を売る。
- 長男出産後、女性、子育て、まちづくりの市民活動に参加。
- 99~2011年 2015年~浜松市議会議員
- 2011年~子ども・若者支援のNPOスタッフ



# 浜松Happy化計画

## レポートPart2

Happy plan for Hamamatsu!!



みなさんのおかげで、5回目の当選させていただきました。5399票と前回より1907票も上乘せすることができました。

これまでの経験を生かして、一人ひとりのHAPPYと、浜松のHAPPYなまちづくりを進め、浜松って「いいね!」を実感できるよう、これからもみなさんと一緒にアクションしていきます。



### 会派は、浜松市政向上委員会

今期も1人会派で頑張ります。市役所7階北側奥に会派控え室があります。ぜひ、気軽に寄ってくださいね。

### 委員会は、環境経済と地方創生

議会での所属委員会が決定しました。「環境経済委員会」と「地方創生調査特別委員会」に、2年間の所属となります。地方創生調査特別委員会では、総合戦略、企業誘致等、中心市街地の活性化、中山間地域の活性化がテーマです。どちらの委員会も地域づくりに関係しているところ、大きなお金が動くところなので、しっかり提言・チェックしていきます。

### 編集・発行 めぐみ応援・浜松市政向上委員会

浜松市東区半田山 2-5-10 TEL/053-431-1511  
MAIL/megu@megumi-happy.net FAX/053-544-5451  
HP/www.megumi-happy.net

### 女性議員が9名から12名に



4月の統一地方選挙で、浜松市の女性議員の数が前回の9名から3名増えて、12名となりました。議員全体の26%で、政令指定都市の中で3番目に多い数字です。20代から60代、女性のライフサイクルが網羅されるようなメンバーです。今期も超党派の「浜松女性議員の会」を継続して活動することになりました。

「若手の女性職員とも交流したいね」「市内や近郊の施設なども視察したいね」「手話の勉強会も継続したいね」などなど、顔合わせ会では早速やりたいことが次々と出てきました。それぞれ出た背景、支援者は違うけれど、今まで見過ごされてきたところを掘り起こすような力になればと思います。

### 市民とともに政策を編み出し、実現させるしなやかな浜松に!

社会の変化は激しく、個々の課題も浜松の課題も複雑化・複合化しています。

鈴木めぐみは、市民との対話を生かし、学び合いの輪を広げ、ともに課題に向き合い、どんな変化にも適応できるしなやかな浜松にします。

浜松市議会議員 鈴木めぐみ

### 鈴木めぐみ自宅

浜松市中区曳馬 6-5-17  
TEL/090-8672-8534

※めぐみ応援会員募集中・内部資料



## Megu's Report! 内申書も学力調査もない、学び直しできる 神奈川県の高校に行ってきました。

6月3日に、神奈川県のカリエティブスクールの視察に伺った。発達支援級、不登校、外国籍の子どもたちの中学卒業後の進路が静岡県では大変限られている現状がある。浜松市の発達支援級や不登校のほとんどの子どもたちは、全日制の公立高校に入学しにくく、私立の通信制高校・サポート校に流れている状況だ。発達支援級では、通常級とは内申書が違うために、進学には不利になり、受験や進学への配慮が不明のため、

### 「学び直し」カリエティブスクール・釜利谷高校

#### ●カリエティブスクールとは

中学校までに、持てる力を必ずしも十分に発揮しきれなかった生徒(発達支援学級、通級指導、不登校、外国籍など)を積極的に受け入れ、さまざまな教育活動をとおして、これからの社会生活をよりよいものにする意欲と他者との関わりを大切にしながら、主体的に学び、考え、行動する「社会実践力」を育む学校。「学び直し」と「社会実践力」をキーワードに「わかる授業」で生徒をささえ、鍛える仕組み。神奈川県内では、現在県立の昼間で3校ある。教師たちの共通理解として、中学校まで何らかの理由で自分の力を発揮できなかった、もう一度勉強をやり直したいと来ているのだから、「高校生なのに、こんなこともできないの?」とは思わない。学ぶことに向き合う生徒や意欲のある生徒にはとことん応えるようにしている。



受験、入学に結びついていない。不登校生や外国籍の子どもたちは、学力調査に不安で、受験とならない。一方、私立の通信制高校・サポート校は学費が高く、生活困窮世帯では通学させることができない。そうした状況から、神奈川県の取り組みを調べ、浜松の子どもたちの中学卒業後の学び、居場所を確保できるようにしていきたいと考え、視察を計画した。(詳細は、ホームページに掲載)

#### ●入試について

入試では、学力検査をせず、中学校の学習評価も選考の要素としない。面接と調査票の観点を点数化し、自己表現検査による選抜をする。※中学時の状況は関係ない。面接、関心意欲、態度が合格の基準。

#### ●学び直し

私が行った時には「ベーシック」の授業をしていて、450円+510円÷3=、120円×5本+70円×7本=、と小学校の学習から学び直しをしていた。高校については県の管轄ではあるが、義務教育においても学ぶべきことがたくさんあった。

#### 【浜松の教育に取り入れたら良い例】

- 1 ユニバーサルデザインの学習環境。** 黒板の周りには飾らない。授業の終わり2分前に予鈴がなる、学年で色分けする、小さいホワイトボードやプロジェクターを活用するなど、今すぐにでも授業に取り入れることができる。
- 2 受験のあり方。** 内申書や学力調査がないことで、必要な子どもが高校で「学び直し」ができるようになる。何らかの事情で不登校になった子どもも、意欲があれば学ぶことができるとなれば、保護者の不安も軽減されるだろう。
- 3 「スチューデントファースト」という考え方。** 先生のためでも、保護者のためでも、学校のためでもない。生徒のために動いていく。「スチューデントファースト」は浜松の義務教育にも広げていきたい。

## 「ひとりひとりのHAPPY」をめざして!

化学物質過敏症の方から苦しい毎日を訴えたお手紙をいただいた。その方は相当重症で、身の回りのありとあらゆる化学物質に少量でも反応してしまうため、一日じゅう絶え間なく苦しんでいる。外に出ると反応してしまうので、外出ができない。お友達にはノーメイク、シャンプーや洗剤に気をつけてもらえないと会えない、使える生活用品がない、食べられるものを探すのも大変などなど、と切実な声がかかれていた。

化学物質過敏症(Chemical Sensitivity=CS)は、さまざまな種類の微量化学物質(香水、柔軟剤、農薬、除菌剤、たばこ、建材、塗料など)に反応して、吐き気、頭痛、そのほか身体に不調を訴えるもので、重症になると、仕事や家事が出来ない、学校へ行けない...など、通常の生活さえ営めなくなる症状のことだ。

2005年頃、小学生の親から、子どもが学校内の化学

## 化学物質過敏症ってご存知ですか?

物質(床に塗るワックスや教材から揮発する化学物質、校庭の樹木へ散布される殺虫剤)に反応して学校に行けないという声を聞いて、当事者と市の担当課(保健、建築、教育委員会、保育課など)と有志議員で、円卓会議をし、理解と対応を求めたが、その後しっかりフォローしていなかったなと反省。

今後、化学物質過敏症についてさらに調べ、政策提言していきたいと思う。あなたの周りに、化学物質過敏症やシックハウス症候群の方がいましたら、話を聞かせてもらいたいです。どうぞ、よろしくお願いします。



## 「浜松のHAPPY」をめざして!

### 「みんなで作る、みんなのアソビバ@焼津商店街」

焼津の商店街の道路をみんなの遊び場にしてしまう試みを、子どもの日(5月5日)に、見学してきた。

道路に人口芝をひいて、アソビバに変身。道路を芝生の空間にし、子どもも大人もつくって遊び、体を動かして遊び、話して遊んでいる。遊びを強制することなく、誰かが遊びを指導することもなく、子どもも大人も遊びを楽しんでいる、ゆるい感じが心地いい。

この企みは、行政などの補助金が入っておらず、おもちゃや遊具は、市民からの寄付、大漁旗や鯉のぼり(焼津なので、鯉のぼり)は、市民の心意気で成り立っている。

人口芝生やおもちゃなどは、他のイベントなどに貸しており、「アソビバ」の拡大もしている。

道は、もともと子どもの遊び場だったり、市民の憩いの場所であった。それが、いつの間にか、自動車を通るだけになってしまった。

地域の人たちから「こんな使い方もできるんじゃないか?」「あんなことやったらおもしろそう!」と、この試みに刺激を受けて、まちに主体的に関わるひとが増えているようだ。浜松でも参考にしたいね。

子どもは、休んだり、遊んだり、文化・芸術活動に参加する権利がある。(子どもの権利条約 第31条 休み・遊ぶ権利)

子どもは、休んだり、遊んだり、文化・芸術活動に参加する権利がある。(子どもの権利条約 第31条 休み・遊ぶ権利)



数字は語る!

国会議員の女性の比率 **13.7%**

地方議員の女性の比率 **13.5%**

先進国の中で最下位!  
日本の女性議員比率 世界193カ国のうち、**165位**  
(2019年3月末現在)